



Title	GLOCOLブックレット14 ブックレットに寄せて
Author(s)	大橋, 一友
Citation	GLOCOLブックレット. 2014, 14, p. 3-4
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/50044
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ブックレットに寄せて

大橋一友

大阪大学グローバルコラボレーションセンター長

大阪大学グローバルコラボレーションセンターでは2007年より大阪大学の「国際性」を強化する研究・教育・実践活動を行ってきました。2010年より海外体験型教育企画オフィス(FIELD; Fieldwork, Internship and Experimental Learning Design Office)を設置し、学生の教育・実践をサポートしています。大阪大学全学の学部学生、大学院生を対象とした海外インターンシップや海外フィールドスタディなどを、学内のさまざまな部局と協力しつつ企画し、グローバル人材、国際協力と開発の分野で活躍できる人材や共生社会の実現のために資する人材を育成しています。

2012年度には9名の学生が海外インターンシップ(派遣期間1か月以上)を経験いたしました。また、インターンシップの準備プログラムとして、派遣期間を1か月未満に設定している海外ブレ・インターンシップに11名の大学院生・学部生が参加しました。これらの学生には海外実習だけではなく、事前教育(履歴書の書き方や面接指導などを含む)や事後教育を行い、経済的助成も行っています。さらに、2012年度に海外フィールドスタディを13プログラム実施し、85名の大学院生・学部生の参加を得ました。海外フィールドスタディプログラムは、とかく内向きだと言われている現代の学生に、海外へ目を向けさせるための重要なプログラムです。パラオ、タイ、インドネシア、ベトナム、モンゴル、スイス・フランス、バングラデシュ、韓国、中国、米国、ドイツにてフィールド実習を行いました。

このたびGLOCOLブックレットとして刊行いたします『フィールドスタディで国際機関の活動を知る：GLOCOLにおけるグローバル人材育成の挑戦』は、GLOCOLの行っている上記活動の一つをまとめたものです。このプログラムは、海外フィールドスタディ

で行う実習をブレ・インターンシップとしてとらえ、将来の海外インターンシップへのチャレンジに結び付けることを目的とした意欲的な取り組みです。本プログラムには10名の大学院生が5つの研究科から参加し、GLOCOLの安藤由香里特任助教が兼松泰男教授(産学連携本部イノベーション部e-square)の協力を得て、実施したものです。また、FIELDO教職員(敦賀特任准教授、本庄特任准教授、片山特任事務職員)をはじめ、GLOCOLの教職員全員の協力を得て、実施されたものです。

日本中に「グローバル人材の育成」という言葉が満ち溢れています。GLOCOLはこのような社会のニーズに答えるべく、他の教育機関に先んじてグローバル人材教育を推進してきたと自負いたしております。そのため、本ブックレットが発行されますことはGLOCOL教職員全員の喜びです。今後、このブックレットが大阪大学のGLOCOL以外の部局やグローバル人材教育を実施している、これから実施しようとしている大阪大学以外の教育機関で活用されることを期待しております。

今後ともGLOCOLの活動に注目していただければ幸いです。

2014年1月